



■ テーマ名

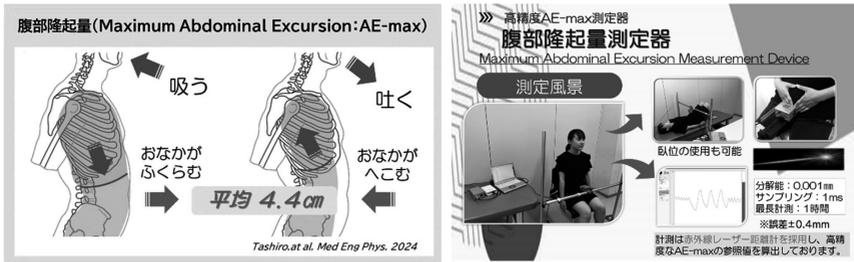
「呼吸測定的一般化」に向けた簡便な評価指標の開発

■ キーワード

呼吸機能測定、呼吸筋、呼吸サルコペニア、呼吸生理、バイオメカニズム

■ 研究の概要

近年、高齢者の介護予防において呼吸筋量の減少と呼吸筋力の低下が示唆される病態である「呼吸サルコペニア」が新たな概念として注目されてきています。この概念は、2023年に日本呼吸ケア・リハビリテーション学会等の4学会合同ポジションペーパーが発表され、診断方法の妥当性やそのアウトカムなど多くのエビデンス創出が期待されています。その一方、現状の呼吸機能測定は医療機器を必要とし、操作には高い専門性が必要とされ、簡便に呼吸筋を評価できるスクリーニング評価は確立されていません。そのため、我々は呼吸筋の評価指標として腹部隆起量（膨らみ量）を測定する腹部隆起量測定器を開発しました。これは最大呼吸時の腹部の隆起変化量を赤外線距離計にて測定するものであり、非接触で簡便に計測できる呼吸筋評価機器です。



■ 他の研究／技術との相違点

我々は他に存在しない「新・測定手法」で呼吸筋の評価を安価で簡便に行うことができるデバイスやソフトウェア開発を目指しています。

■ 今後の展開、実用化へのイメージ

今後は「測定デバイスの形状を変化させる」または、「アプリケーションソフトに切り替える」などして誰でも呼吸を計測できる測定器の製品化（一般化）を目指します。

■ 関連業績（特許・文献）

- ・ 科研費：若手研究「地域在住高齢者における簡易的、定量的横隔膜機能評価スケールの開発」(2022 - 2024)
 - ・ 特許：申請中
 - ・ 出展：バリアフリー展 (2024), イノベーションジャパン (2023), 国際フロンティアメッセ (2022) など
- 1) Tashiro D, Oki Y, Nonomura N, Takeyama Y, Osaki T, Morimoto Y. Maximum abdominal excursion assessment using an abdominal excursion measuring device: Reliability and validity of a new device for simple and quantitative assessment of respiratory function. *Med Eng Phys* 124:104093, 2024.
 - 2) 田代 大祐, 沖 侷太郎, 野々村 夏葉, 武山 結紀, 尾寄 遠見, 森本 陽介：腹部隆起測定装置を用いた AE-max の信頼性と妥当性の検討 ―簡易的・定量的呼吸機能評価法の開発―. 第 33 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2023.

■ 研究者から一言

共同で製品開発ができる企業との出会いを期待しております。

医療・福祉・介護・リハビリテーション
環境・健康・食品
バイオ/ライフサイエンス
人文・心理・教育・グローバル
経済・経営・社会・法学
索引